

## 回覧

令和3年(2021年)度 第七回 定例役員会 2021年7月3日(土)

～2021年7月2日(金)作成～ (会場:ボンシャンス)

### < 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

### < 公民館新築進捗(しんちよく)状況 >

皆様には益々お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。  
予定より3日早く6月28日より公民館の新築工事がスタートしました。

先月6月15日付けの「館長報告(号外版)」でご報告した通り次の業者様にこの新築工事をお願いしております。

会社名: 馬野建設株式会社(うまのけんせつかぶしきかいしゃ)様  
住所:〒689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町赤崎 1840-1 TEL: 0858-49-2222

### ～ 新築工事のスケジュール ～

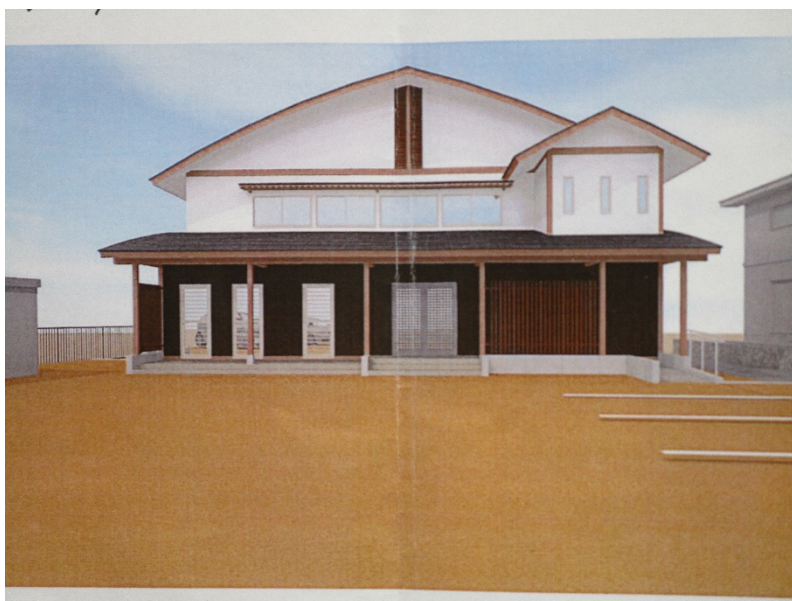
- 6月28日(月)～8月下旬 \*地盤調査～地盤改良の後、基礎工事に入る。
- 7月6日(火)午前10時 \*地鎮祭を行います。これは工事の安全を祈願する神事で、設計事務所、新築業者、公民館執行部、建設推進委員が出席します。
- 9月上旬～11月30日(火) \*この3か月間で建方～内外装を経て新築工事を完了します。数日のずれもあるかも知れませんが納期厳守で作業頂きます。
- \*建設現場に面する複数のお宅には業者が工事概要や注意点を盛り込んだチラシを以てご説明に伺います。その他の皆様には同じチラシを回覧手配致します。(7月4日以降回覧)

**12月中旬**のお日柄の良い日に完成を祝う**竣工式**を開催します。今まで支えて下さった方々も来賓としてお迎え致します。

また、計画工程表は6月15日付け「館長報告（号外版）」の2ページ目に掲載しております。



＜ 解体工事完了（2021年6月25日撮影）＞  
（約190坪の土地）



＜ 完成イメージ図（2021年11月30日）＞  
（建屋は1階と2階の合計面積が約120坪、所謂「建ぺい率」は約30%）

## ＜福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況＞

この自主的な寄附金はプラスアルファ、つまり予備の財源です。然し、これが増えれば増える程低利借入金の返済額と返済期間が減っていくという重要な財源でもあります。その金額に応じて寄附金銘板にお名前を刻(こく)し永く新公民館に掲げます。

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979) お電話を下されば、私が戴きに参ります。

この寄附金の受付期限を新公民館が完成する令和 3 年 11 月末日と致します。また新公民館完成後も様子を見ながら引き続き受け付け致します。

\*令和 3 年(2021 年) 6 月 30 日 (水) 現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄附頂いた世帯数： 150 世帯 (全体の約 36.1%)

(2) 寄附金の合計： 484 万円

(3) 個々の寄附金額の概要：最高額：30 万円 (1 名) 30 万円 (福庭青年団) 25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 20 万円 (1 名) 10 万円 (12 名) 5 万円 (11 名)、3 万円 (22 名)、2 万円 (15 名)、1 万円 (84 名・内 1 名は福庭以外の方です)

(先月に対して総金額は同じですが内訳明細に変更があります)

## ～ 館長のちょっと一服コーナー ～

ベートーヴェン「月光ソナタ」嬰ハ短調の弾き出しと大相撲 照ノ富士の立ち合い、更には陸上 100 メートル日本記録保持者 山縣亮太選手のクラウチングスタートにみる極める者たちの緊張の息使いについて考えます。

昨年コロナ禍で中止となった倉吉市のアザレア音楽祭が今年は「サロンコンサート」と銘打って小ぶりの規模で行われた。今年が 38 回目となる伝統の音楽祭だが、全国的には余り知られていないと思う。その中で倉吉交流プラザで 5 月 16 日に行われた倉吉市出身の秋山ちひろさん(次ページに写真を掲載)のピアノコンサートに足を運んだ。何故 秋山さんのコンサートかと言うと、2 年前に彼女のベートーヴェン「テンペスト」の演奏を聴いた後アンケート用紙に E メールアドレスを書く欄があってそれに記入したのだが、今年の演奏に先立ってメールが本人から送られてきたのだ。勿論、私個人宛ではなく、アドレスを書いた人達全員に対して是非演奏会に来て欲しいという内容

だった。こういう新しい勧誘の仕方は若い人ならでは  
であり、他の演奏家ももっともっと工夫して自己 PR をして  
集客すべきだ。スポーツや他のイベント更には仕事や商売  
でも倉吉の人は「ジーンと待っていれば話がある」



「自らは出て行かない」「シャシャリ出るのは恥ずかしい」  
といったイメージが強いと思う・・・これはあくまでも個人的な印象だが・・・自分の収入  
や生活に関わる事なら尚もっと貪欲に他人を押し分けてでもやってやるくらいの  
気概が欲しい。さて、今回のピアノ演奏の一曲目はあの有名なベートーヴェンの「月光  
ソナタ」嬰ハ短調だった。会場の交流プラザは 50 名程度で満員になる小さい収容規模  
でたまたま私の座ったところの正面に彼女の顔があった。だから演奏時の彼女の表情が  
手に取るように分かった。ところが有名な第 1 楽章が始まる第 1 音目の嬰ハ（ドの#）  
の鍵盤をなかなか押さえきれない。タイミングが合わず 2 度 3 度躊躇（ちゅうちょ）  
して顔も紅潮し歪んできて大丈夫かと不安になった瞬間、3 連符のゆったりとした調べ  
が始まった。目を閉じて聴いていると本来は「スイスのルツェルン湖の水面に映る月の  
光」を想像すべきだが、行ったことがないので「東郷池に映る月光」を推測したが  
何故か目頭が熱くなって下を向いて涙をこぼしてしまった。こういう時にこそコロナの  
マスクが役立ち事なきを得たのだが、スタートに費やした時間が決して無駄では無かつ  
た素晴らしい演奏だったと思う。

先月、報告した大相撲 照ノ富士の鬼の形相の立ち合いも同じだ。ただ所謂、格闘技で  
両者の息が合った時に試合が始まるのは日本の相撲だけだろう？レスリングでもフェ  
ンシングでもボクシングでもレフリーが合図をして始めるのが欧米では普通である。  
ところで、6 月の初めに鳥取市である山縣亮太（やまがたりょうた）さん（29 歳）が  
陸上 100 メートルにおいて 9 秒 95 の日本新記録を出した。そして昨日、山縣選手は  
23 日から始まる東京オリンピックの日本選手団主将に選ばれた。広島市で生まれ  
修道中学・高校に学んだ文武両道の逸材だが、生まれた時は超未熟児で新生児集中治療  
ケースに 2 週間も入っていた。「生きるか死ぬかを」人生の始まりに経験した男は  
「小さく産んで大きく育てる」の例え通り今度の五輪の顔になる。日本選手団主将は  
インタビューの機会が多く彼のスピーチに今から注目が集まっている。「走る哲学者」  
の異名をとる山縣亮太選手のクラウチングスタートが見ものだ。これもピアノや相撲の  
息遣いと同じく想像を絶する集中とタイミングが必要なのだろう。 以上



(秋山ちひろさんの演奏と山縣亮太選手の画像は Google Site 検索からの引用)